



52教室全てに統一したAVシステムを導入
レーザープロジェクターで
明るい教育環境を実現
～東京電機大学工学部
埼玉鳩山キャンパス～

■導入背景

1907年に設立された東京電機大学は工学部を1977年より埼玉県鳩山町に開設。「技術は人なり」を教育理念に掲げ多くの優秀な人材を世の中に輩出してきました。

今回、優れた教育研究環境を整備できるよう最新レーザー光源プロジェクターを軸に統一したAV機器をすべての教室に導入し一貫した維持管理ができるよう提案させていただきました。



埼玉鳩山キャンパス

■システム内容

◆中教室

レーザー光源としては世界最高輝度のプロジェクター（2014年7月時点）を教育分野で先がけて40台を全教室に導入。明るさだけでなく小さな文字までシャープに再現し、電源ONからの起動時間も6秒、ランプ切れの心配もなく学生の方々にストレスを与えることなく講義を進められます。

◆プレゼンテーションホール

HDの4倍画質となる4K SXRプロジェクターを背面投影しました。高精細な映像表現はもとより、HD画質にて2画面同時表示（動画とPC詳細情報等）を可能とし、多くの学生が一度に講義やガイダンスをより分かりやすく受講できます。また、ハイスペックPCを接続すれば、



プレゼンテーションホール（952人収容）
4K画質で250インチスクリーン

CADデータを原寸大でリアルに表現でき、建築・設計関連の授業にも活用できるといった汎用性も選定理由の一つでした。

◆教卓

操作卓は近年多く採用されているタッチパネルではなく、取って確実な操作感のあるボタン方式を採用。先生方が安心感をもって授業に臨めることを最優先としました。機器は先生のIDカードを操作卓にかざすだけで使用が可能となり、さらに、音量においては自動的にフェーダーが初期設定値へスライドするため、音が出ない等の操作ミスをなくす工夫がされています。使い勝手の良さの拘りとしては、先生が資料を広げやすいよう机を通常よりも長めにしてスペースを確保することや、持ち込みの機器も戸惑いなく接続できるよう教卓の内側に取り外し可能



カードリーダーまですべて清潔感のある白に統一された操作卓

な電源タップを設置する等、授業導線にも無駄がなくAV技術と什器をうまく組み合わせ 効率的な講義が行えるよう配慮しました。

◆メディア教室

今後、教育形態がどのように変化しても対応できるよう、マルチ画面の採用も2部屋完備しました。9面の構成は教卓のレイアウトボタンでどの画面にどのような素材（ブルーレイ、PC等）を表示するか簡単に選択できます。講義をされる先生ご自身の発想によって教育スタイルも自由に変えていくことができます。



165インチの9面マルチディスプレイ

◆会議室

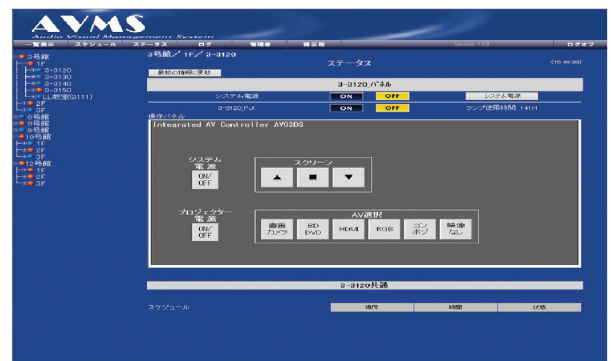
レーザー光源プロジェクターを3台設置し、会議形態に合わせてそれぞれ別の素材を表示可能としました。将来的には、3画面を1画面につなぎ合わせ（ブレンディング）、横長の素材を全体表示させることも視野に入れています。



レーザー光源プロジェクターVPL-FHZ700を3台横並びに天吊り

◆管理室

全教室の機器を一括管理できるシステム（AVMS）を導入。PC上のソフトウェアで各教室の状況を確認し、遠隔からプロジェクターの電源ON/OFFや詳細設定まで行えます。万が一、トラブルが発生した場合にも即座に対応ができ、講義への影響を極力少なくすることが可能です。また、システムの使用頻度や教室利用状況の統計も取れ今後の導入機器の検討材料としても役立てられます。



一括管理システムの画面例

■今後の展望

機器や技術が発展し複雑化していく教育現場で、問われる「わかりやすさ」。今回、東京電機大学が要望されたことは一誰もが使いたいと思えるシンプルさ。導入後、実際に教壇に立たれる先生からは「一見してわかりやすいのが一番よい」、担当の方は「導入初日からスムーズに講義が行われ、一度も操作について問い合わせを受けていない」との声をいただきました。

「わかりやすさ」を生む小さな工夫は、技術進化がめざましい時代だからこそ、重要になっていくと考えられます。

今後も顧客ニーズを把握することに注力し「お客様にとって特別なもの」をご提供していきます。

問い合わせ先

東通産業株式会社
営業部門営業推進室
TEL:03-5572-7911

E-mail : edu-info@totsu.co.jp

https://www.totsu.jp/inquiry_detail/id=2